

(公社) 佐用町シルバー人材センター 平成28年度事業計画

基本方針

我が国の人口は、平成27年10月1日時点で1億2,711万47人であり、平成22年の前回調査から94万7,305人(0.7%)減り、大正9年に調査開始依頼、初めてマイナスに転じた。内訳は、男性は、6,182万9,237人、女性が6,528万810人である。

都道府県別にみると、39都道府県で人口規模が縮小しており、東京圏などを除き全国的な傾向となっている。

総務省は、「別の統計でも、出生数から死亡数を差し引いた「自然減」が大きいことがわかっており、はっきりと人口減少に入ってきたと分析している。その影響は経済や財政、社会保障など広範囲に及ぶため、政府は対策の加速化を迫られそうです。

兵庫県に於いても前回に対して0.9%の人口減であり、佐用町においても昭和25年の国勢調査人口から減少傾向が続き平成27年の国勢調査人口は17,508人と前回と比較すると9.1%減の状況です。世帯数についても、前回よりも3.1%の減で、193世帯となっています。一方で、高齢人口が占める割合は増加傾向が続いており、平成27年3月現在の高齢化率は35.9%であります。

団塊の世代が65歳に到達する中で、65歳以降も働きたいと希望する者が増えて就業者数は増加しています。人口減少社会においても、経済の成長を実現していくには、年齢にかかわらず働く意欲のある高齢者が能力や経験を活かし、現役で活躍できる場としてのシルバー人材センターが求められています。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」の理解を、会員及び地域社会全般に深め、就業機会の創出と併せ、こうした社会のニーズに柔軟に対応できる会員の確保、資質向上をめざします。

今後とも、役職員を中心に会員と共に一丸となって佐用町シルバー人材センターの発展に努めてまいりますので会員の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

「第1の目標」は「仕事の開拓」です

センターを発展させる根幹となる施策が「仕事の開拓」です。そのために、受注した仕事を懇切、丁寧に仕上げる事が仕事の維持拡大につながります。既利用者への積極的な働きかけ、新規事業取り組みの検討、一般家庭へのPR活動を地道に誠実に取り組んでいきます。

「第2の目標」は「安全就業の取組」です

安全就業は、最優先課題であること、会員の就業時の安全装備について、自覚を促すと共に安全パトロール、安全意識の向上に努めます。

「第3の目標」は「会員の増強」です

高齢者を取り巻く社会経済状況が大きく変化していく中で、会員数の増強、需要変化に対し、資質、対応能力の向上、講習会の実施、外部研修会への参加、PR活動を実施します。佐用町シルバー人材センターにおいては、平成20年度から会員の増減に大きな変化はなく203名（3月末現在）となっております。新会員の入会に際しては、シルバー人材センターの運営内容を充分理解して頂いたうえで入会して頂くため、会員自らが加入の呼びかけを行い経験豊かな人材の確保、育成に努めることが一番の近道となります。

事業計画の概要

1. 組織体制の強化、充実

公益社団法人へと移行し、5年目を迎えます。これまで以上に透明性の高い運営が求められており、特に役員及び事務局が連携し、それぞれの役割を分担しながらセンターの活性化と組織強化に努める。

2. 就業に関する情報の収集及び提供

佐用町、関係団体及び民間事業所などと連携を密にしつつ、情報収集を図り、情報提供に努める。

3. 就業に関する調査研究

- (1) 適正就業、就業開拓等に積極的に取組んでいる先進地シルバー人材センターの視察を行う。
- (2) 会員の自主的活動を促進するため、会員も自ら積極的に就業に関する調査を行う。
- (3) 上部団体の主催する各種研修会に参加するとともに、西播ブロック各センターとの交流を深め就業に関する調査研究を行う。
- (4) 会員の就業に関する調査及び就業に対する意識を把握するため、毎月事業推進員会を開催する。

4. 就業機会の確保及び提供

役員、事務局を中心として会員と共に官公庁、民間事業所及び一般家庭を随時訪問し、シルバー事業にふさわしい新規就業の開拓を図る。

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を実施します。

5. 技能講習会の開催

私たちの仕事が顧客に高い評価を受け喜ばれるためには、会員の技術向上が必要であります。そのための講習会、研修会を開催する。

6. 安全就業の取組み

安全就業を確保するため、安全委員が定期的に会員の就業先を訪問し、就業環境の安全性を確認するパトロール活動及び安全就業推進大会を開催し「事故ゼロ運動」をセンターの重点課題に位置付け安全就業の推進を図る。

- (1) 安全委員による就業現場のパトロールの実施
- (2) 安全重点目標として「ヘルメットの着用」「三脚脚立の固定」「高所作業の際の安全ベルトの着用」「就業途上での交通安全」の周知徹底を図る。
- (3) 安全就業推進大会を開催し、会員の意識啓発に努める。

7. 会員に情報を届ける広報活動

センターが行う事業や会員が自主的に行う事業等の情報提供を行うため、シルバーだより「いきがい」を年2回発行するとともに、センター事業への理解促進・シルバー事業への参画の機会・新規顧客の開拓等に寄与するために、ホームページにおいて情報の提供を図る。

8. 会員相互の交流と連携

会員相互の親睦を深めるための親睦事業を行い、交流を図る。

9. 設立20周年記念大会の開催

本年は、設立20周年の年度にあたり、創立以来の先人の功績に感謝し、記念大会を実施する。